

# 企画展 ワカラナイ ノ ススメ II

—来て！ 見て！ 話して！ アートがつなぐ—

11月1日（土）～12月14日（日）



清宮質文「孤独な魂」1956年（個人蔵）

作者の考え，見た人の考え，1枚の絵に何通りもの思うことが実感できた。

（10代女性）

ワカラナイので，また来たい。

（60代女性）

夫と2人でわいわいと話しながら作品を見られた。  
夫の違った面なども見られて楽しかった。

（50代女性）

情報が無いことで自分の想像を膨らませる事が出来，  
受け身でない展覧会であると感じた。

（30代男性）

12歳と5歳の子どもと見に来たが，感想が全く異なり，  
自分も含めて感じ方の違いが更に面白かった。

（40代女性）

来館者個人の見方が尊重され，  
自由に見るようにと背中を押された感じがある。

（50代女性）

昨年度の「ワカラナイ ノ ススメ」展（平成25年5月25日～7月7日）アンケートより

## 1 展覧会名

### ワカラナイ ノ ススメ II

—来て！ 見て！ 話して！ アートがつなぐ—

## 2 主催 茨城県近代美術館

**後援** 水戸市，朝日新聞水戸総局，茨城新聞社，NHK水戸放送局，株式会社 茨城放送，

**(予定)** 産経新聞社水戸支局，東京新聞水戸支局，日本経済新聞水戸支局，毎日新聞水戸支局，  
読売新聞水戸支局

**協力** 茨城大学教育学部

## 3 会期

平成 26 年 11 月 1 日 (土) ～12 月 14 日 (日) 38 日間

休館日：毎週月曜日

※ただし 11 月 3 日 (月・祝)・24 日 (月・振) は開館，11 月 4 日 (火)・25 日 (火) は休館

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時(入場は午後 4 時 30 分まで)

## 4 観覧料

一般 600 (480) 円 / 高大生 360 (310) 円 / 小中生 240 (170) 円

※( )内は 20 名以上の団体料金

※毎週土曜日は高校生以下無料

※70 歳以上の方および障害者手帳等をご持参の方は無料

※茨城県立の 3 美術館 (近代美術館，天心記念五浦美術館，陶芸美術館) 主催のすべての展覧会で何回でもご利用いただける共通年間パスポート (一般 3,090 円/高大生 2,060 円/小中生 1,030 円，購入日より 1 年間有効) を各美術館にて発売中

※11 月 13 日 (木) 茨城県民の日は，どなたでも入場無料です。

## 5 展覧会概要

本展は，通常の展覧会とは異なり，絵画，彫刻，工芸など 41 点の出品作品全ての題名や作家名などを隠した状態で展示します。キーワードは「ワカラナイ」。それにより，作品の題名や解説文，作家の知名度などから，作品を「ワカル」のではなく，「ワカラナイ」と感じたところから始まる作品との関係を大切にして，作家の表現したいことを想像したり，周りの人の感想や疑問に新たな驚きや楽しみを味わってもらおうという狙いです。

また，本展では前述の展示方法の工夫以外にも，作品を囲んで，気軽におしゃべりしながら作品を見られるよう，会期中毎日 (火曜から土曜) 午後 2 時から作品鑑賞会「たちどまって見よう」を開催します。このイベントでは，美術館スタッフが来場者と共に作品を囲み，参加者全員が作品について自由な感想や意見を出し合うことで，より一層美術に親しんでいただけます。

### 【広報文 1】 (112 字)

本展では，通常の展覧会と異なり，出品作品 41 点全ての題名や作家名などを隠した状態で展示します。作品の解説文や作家の知名度などから作品を「ワカル」のではなく，素直な疑問や感想のまま，作品と向き合う楽しみを味わっていただけます。

### 【広報文 2】 (233 字)

本展では，通常の展覧会と異なり，出品作品 41 点全ての題名や作家名などを隠した状態で展示します。キーワードは「ワカラナイ」。作品の解説文や作家の知名度などから，作品を「ワカル」ではなく，素直な疑問や感想のまま，作品と向き合う楽しみを味わっていただけます。

また、会期中毎日（火曜から土曜）午後2時から作品鑑賞会「たちどまって見よう」を開催します。来場者が美術館スタッフと共に作品を囲みながら、自由に自分の疑問や感想を語り合うことで、より一層美術に親しむことができます。

## 6 出品点数及び内訳（予定）

**作家 35 名、作品 41 点** ※主な出品作品は別紙のとおり（画像有り）

〈分野〉日本画 1 点／油彩画 14 点／水彩画 3 点／版画 11 点／彫刻 9 点／工芸 3 点

## 7 展覧会の見どころ

- (1) 作品を鑑賞すること、展示すること、解説することの意味を改めて考える展覧会です。作品を鑑賞することが、美術についての知識を得ることのみに終始しないよう、展示方法そのものを見直した結果、本展では**作品に関する全ての情報を隠した状態で展示します。**
- (2) 作品鑑賞会「たちどまって見よう」を会期中毎日（火曜から土曜）午後2時から開催します。このイベントは、美術館スタッフが加わりますが、**時には出品作家が参加している場合があります。**このイベントはスタッフや作家が自分の考えを一方向的に語るのではなく、参加者全員で作品の感想や疑問を自由に語り合うというものです。ただし、作家の参加がどの日になるのかは非公開と致します。
- (3) 通常は展覧会場で控えていただいている「おしゃべり」を本展では**歓迎します。**作品について、会場内でお友達やご家族と自由に語り合うことができます。
- (4) 作品についての感想や疑問を自由に書いて貼りだす**「あなたもひとこと」コーナーを設置します。**様々な感想や疑問をご覧くださいことで、新たな驚きや発見をお楽しみいただけます。
- (5) 美術は苦手、どう見たら良いか分からない、という方にこそご覧いただきたい展覧会です。なぜ「ワカラナイ」と感じるのかを共に考えていく中で、新たな出会いや発見が生まれるということを感じていただけます。
- (6) それぞれの作品についてじっくり鑑賞していただくため、展覧会場では作品同士の間隔を大きくとってあります。
- (7) 11月21日（金）～24日（月・振）にかけて、**大好評のイベント「マルシェ・ド・ノエル」**を美術館テラスにて行います。本展をご鑑賞いただいた方へのマルシェ出店者からのクリスマスプレゼント（粗品）や、マルシェでお買い物された方への展覧会入場料の割引特典などを用意しておりますので、展覧会と一緒に楽しみいただけます。

### ＜新たな試み＞

- (1) 一部の出品作品については、**会期前半に作家への質問を募集します。その回答は会期後半、会場でご覧いただけます。**
- (2) 作品鑑賞会「たちどまって見よう」では、**本展の開催に協力していただいた茨城大学の学生が参加する時もあります。**
- (3) 当館ではご紹介する機会の少ない工芸作品を茨城県陶芸美術館から借用して展示するほか、現在活躍中の茨城県出身の立体作家である西成田洋子氏の新作もあわせて展示します。
- (4) 作品を単独で鑑賞するだけでなく、隣り合う作品との比較を楽しみながら鑑賞していただけます。

## 8 イベント

### (1) オープニング「ワカラナイ ノ ススメ II 開幕！」

日時：11月1日（土） 午前9時30分（1時間程度）

場所：2階企画展示室

定員：無し（要企画展チケット）

内容：作品鑑賞会「たちどまって見よう」を、本展の開催準備に協力いただいた茨城大学の学生や「いばらき教育の日」にあわせて来館する小学生を交えて実施します。また、「みんなのQ&

A) や、「感じたことを書いてみよう」コーナー（感想掲示板）など、本展の見どころ、遊びどころをお伝えします。

**(2) 作品鑑賞会「たちどまって見よう」**

日時：会期中毎日（火曜から土曜）各日午後2時から（1時間程度）

場所：2階企画展示室

定員：無し（要企画展チケット）

内容：美術館のスタッフを交えて、参加者全員で作品を囲み、作品から受けた印象や考えを思い思いに語り合います。時には出品作家が参加することもあります。

**(3) 作品鑑賞会「たちどまって見よう」&講演会「ワカラナイ ノ ススメ」**

日時：11月16日（日）午前11時から「たちどまって見よう」、午後2時から講演会

場所：2階企画展示室及び地階講堂

定員：「たちどまって見よう」無し（要企画展チケット）、「講演会」250名（参加無料、先着順）

講師：齋 正弘氏（前宮城県美術館学芸員）

内容：齋氏を交えて作品鑑賞会「たちどまって見よう」を行います。その後、講演会では、宮城県美術館の設立当初から同館の教育普及活動を牽引し、全国的にも美術館教育の草分け的存在である齋氏に、これまで実践してきた数々の鑑賞プロジェクトを紹介していただきながら、美術館における作品鑑賞について広くお話いただきます。

**(4) 美術館セミナーワークショップ「描いた絵を立体にしよう！」&作品鑑賞会「たちどまって見よう」**

日時：12月7日（日）午後1時30分から午後4時30分まで

場所：2階企画展示室及び地階講座室

定員：40名（要企画展チケット。往復ハガキによる事前申込制、申し込み多数の場合は抽選）

講師：西成田洋子氏（本展出品作家）

内容：ワークショップでは簡単な創作活動として、自由に紙に色をつけ、それを立体作品に仕上げます。また、展覧会場で同氏の出品作品の鑑賞会「たちどまって見よう」を行います。

**(5) ミュージアムシアター**

日時：11月2日（日）及び12月14日（日） 各日とも午前10時30分及び午後2時

場所：地階講堂

定員：250名（入場無料、先着順）

上映作品：午前10時30分「ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人」（2012年、87分）

午後2時「ハーブ&ドロシー2 ふたりからの贈り物」（2013年、87分）

**(6) ミュージアムコンサート「アフタヌーン・コンサート～ピアノとマリimbaとともに午後の素敵なひとときを～」**

日時：11月9日（日）午後2時30分開場、午後3時開演、午後5時終演予定

会場：地階講堂

定員：250名（往復ハガキによる事前申込制、申し込み多数の場合は抽選）

出演者：中村真由美（ピアノ）、中村佳代（ピアノ）、中村文彦（マリimba）

**9 お問い合わせ先**

〒310-0851 水戸市千波町東久保 666-1

(TEL) 029-243-5111 (FAX) 029-243-9992

(E-mail) info@modernart.museum.ibk.ed.jp

(ホームページアドレス) <http://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/>

展覧会担当 吉田 衣里、林 和男 / 広報担当 平川 正

## 【作品介绍】

※1 こちらに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ転載可能です。

※2 画像には、作家名・題名・制作年・所蔵を必ず入れてください。



清宮質文「孤独な魂」1956年（個人蔵）



榎戸庄衛「古代人の頭脳」1958年（茨城県近代美術館所蔵）



河口龍夫「関係—無関係・弾けないピアノ」2012年（個人蔵）



堀内正和「とぶ円筒」1991年（個人蔵）



浦田正夫「樹幹」1969年（茨城県近代美術館所蔵）



鏑木昌弥「テトラパック 2号」1987年（茨城県近代美術館所蔵）